

同志社大学 法科大学院

特別講演会案内

『比較法観点からのドイツにおけるM & Aの実務』

(日本語)

2016年11月10日 (木) 16:40 – 18:10

会場：寒梅館2階 212号室

海外市場における成長は日系企業にとって、とりわけ震災以降重要な課題となっております。その中で、日系企業による欧州最大の経済大国ドイツにおけるM&Aの勢いは、とどまりません。この傾向は、Brexitの影響により、今後強まる可能性もあります。中小企業の買収が多く、また業種は多岐にわたります。一方、大型案件もしばしばあります。最近では、ある日本の住宅設備・建材大手が欧州最大のドイツの水回り製品メーカーを約4000億円で買収した案件が記憶に新しいと思われます。

今回の講演会では、実務経験豊富なドイツ国弁護士により、ドイツにおけるM&Aの特徴について日本企業のM&Aの実例紹介も踏まえて下記内容につきご講演頂きます。貴重な機会ですので、奮ってご参加ください。

- ・ 日系企業によるドイツにおけるM&Aの傾向 ・ ドイツにおけるM&Aの特徴
- ・ 対象会社の形態（有限会社、有限合資会社、株式会社）およびガバナンス
- ・ シェア・ディール、アセット・ディール、公開買付・ 手続き（公正証書等）
- ・ 共同出資（合弁会社）の際の留意点・ ケーススタディ

講演者

Dr. Shigeo YAMAGUCHI 山口茂雄 法学博士(ドイツ)、弁護士

ドイツのミュンヘン大学、フライブルグ大学において法学を学び、ドイツの司法試験を合格した後弁護士になる。デュッセルドルフ市の Arqis (アーキス) 法律事務所において M&A また会社法及び商法を担当。デュッセルドルフ大学において敵対的買収の問題について法学博士号を取得。



Dr. Meiko Dillmann デイルマン明子 法学博士(ドイツ)、弁護士

ドイツのフライブルグ大学において法学を学び、司法試験合格後ロンドン、ベルリンにても司法修習。京都大学に研究者として一年間滞在。メディアと私的実地に関する問題法学博士論文を取得。重要な担当分野：M&A, ジョイント・ベンチャー、会社法、商法。



講演会後の懇親会に出席をご希望の方は、11月7日(月)までに下記問い合わせ先へご連絡下さい。
(参加費2,000円)

お問い合わせ：同志社大学 法科大学院教授
Prof. Dr. Hans-Peter Marutschke
電話(075)251-3733 mail:hmarutsc@mail.doshisha.ac.jp